FII	 丁丵宫望	 等専門学校	開講年度	 3和06年度 (2	0024年度)	授業科目	交通基盤工学	
		于一门一个	.	740004/支(2	.0244/支)	12条行口		
科目基礎情報 科目番号 0024				科目区分 専門		/ \22+U		
授業形態		講義		単位の種別と単位		専門/選択		
324274712763				1				
開設学科		環境建設工学専攻			対象学年	専2		
開設期		俊期	後期			週時間数 2		
	科書/教材							
担当教員		西澤 辰	男					
到達目標								
到達目標:到達目標:到達目標:	1 : 舗装に 2 : 舗装の 3 : これら	関する構造, 設計や診断(の知識に基7	計画,性能評価などの こ関する専門知識を習得 びいて,舗装に関わる問)基礎知識を習得]する。]題を発見し, 解	する. 決できる能力を養 ⁻	5 。		
ルーブリ	ノック		1					
			理想的な到達レベノ	理想的な到達レベルの目安		ジルの目安	未到達レベルの目安	
到達目標1			舗装に関する構造,計画,性能評価などの基礎知識を理解し,説明できる.		舗装に関する構造,計画,性能評価などの基礎知識を理解している。		舗装に関する構造,計画,性能評価などの基礎知識を理解していない.	
到達目標 2			識を理解し,説明で	識を理解し、説明できる 識を理		所に関する専門知 3	舗装の設計や診断に関する専門知識を理解していない.	
到達目標 3			できる。	1		舗装に関わる問題を発見したり , 解決できない。		
		頁目との 関						
創造工学	プログラム	B1専門(土	木工学) 創造工学プログ	ラム F1専門(建	[築学]			
教育方法	去等							
概要		させるために,道路,空	る基盤施設の1つである舗装の機能・力学・設計・管理について学習する。舗装は交通車両を安全かつ円滑けるために、道路、空港、港湾などに建設される重要な交通基盤施設である。舗装に関する構造、計画、性能学際的な基礎知識および専門的知識を修得する。さらにこれらの知識に基づいて、舗装に関わる問題を発見できる能力を養う。					
授業の進め方・方法 試験(60%			策を実施する。 ら),課題演習(40%) 西基準として60点以上を合格とする.					
ること。 注意点 記様では, 履修の先値 コンピュー		は,授業中に作成したソ に修条件:表計算ソフト ュータリテラシー(1C.1/	ンピュータを用いた課題演習(簡単なソフトを作成する)を行うので,必ず自分で作成し実行して課題を解答す 授業中に作成したソフトウエアを使用する。 §条件:表計算ソフトの使用方法を理解していること。力学の基本的な事項について理解していること。 -タリテラシー(1C,1A) [(2C,2A), Ⅱ(3C,3A), Ⅲ(4C,4A)					
テスト			(- 7) (7 -	<i></i>				
	事性,履 值	多上の区分	4					
	<u> ガロー/後!</u> ティブラー:		」 □ ICT 利用		□ 遠隔授業対応	:	□ 実務経験のある教員による授業	
	/·1/// _		101 101 1111			•	□ 大切性感のある状質にある技术	
授業計画	———— ≢ī							
汉未可臣	<u> </u>	週	授業内容		1:		## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	
		1週	舗装の種類と役割			週ことの判 <u>達日(</u> 到達目標1	示	
		2週	舗装のライフサイクル	(一件)		<u>到连日保 1</u> 到達目標 1		
		3週	` ′			到達目標 2		
		4週	舗装の設計(AASHTO設計法) 舗装の設計(CBR設計法)			到達目標 2		
	3rdQ	5週	舗装の設計(仮対設計法)			到達目標 2		
		6週	舗装の設計演習		到達目標3			
			舗装の構造解析法			到達目標 2		
	1	7週	調表の構造解析演習 調表の構造解析演習		13			
I		I X III	舗装の構造解析電影		İ:			
後期		8週				到達目標 2		
後期		9週	舗装の施工法と材料			到達目標2		
後期		9週 10週	舗装の施工法と材料舗装の材料の力学	fi注		到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2		
後期		9週 10週 11週	舗装の施工法と材料 舗装の材料の力学 舗装の機能とその評価			到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2		
後期	4thQ	9週 10週 11週 12週	舗装の施工法と材料 舗装の材料の力学 舗装の機能とその評価 舗装の構造診断法(F	WD試験法)		到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2		
後期	4thQ	9週 10週 11週 12週 13週	舗装の施工法と材料 舗装の材料の力学 舗装の機能とその評価 舗装の構造診断法(F) 舗装維持管理システム	WD試験法)		到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2		
後期	4thQ	9週 10週 11週 12週 13週 14週	舗装の施工法と材料 舗装の材料の力学 舗装の機能とその評価 舗装の構造診断法 (F 舗装維持管理システム 総合演習	WD試験法)		到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 3		
後期	4thQ	9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	舗装の施工法と材料 舗装の材料の力学 舗装の機能とその評価 舗装の構造診断法(F) 舗装維持管理システム	WD試験法)		到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2		
		9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	舗装の施工法と材料 舗装の材料のカ学 舗装の機能とその評価 舗装の構造診断法(F 舗装維持管理システム 総合演習 後期まとめ	WD試験法) A		到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 3		
モデルニ		9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	舗装の施工法と材料 舗装の材料のカ学 舗装の機能とその評価 舗装の構造診断法 (F 舗装維持管理システム 総合演習 後期まとめ	WD試験法)		到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 3	231/2=1 °/-11 142/44/122	
モデル ^ニ 分類	コアカリ	9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	舗装の施工法と材料 舗装の材料のカ学 舗装の機能とその評価 舗装の構造診断法 (F 舗装維持管理システム 総合演習 後期まとめ	WD試験法) A		到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 3	到達レベル 授業週	
モデルニ	コアカリ	9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	舗装の施工法と材料 舗装の材料のカ学 舗装の機能とその評価 舗装の構造診断法(F 舗装維持管理システム 総合演習 後期まとめ)学習内容と到達目 学習内容 学	WD試験法)	蓝示	到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 3		
モデルニ 分類 評価割合	コアカリニ	9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	舗装の施工法と材料 舗装の材料のカ学 舗装の機能とその評価 舗装の構造診断法 (F 舗装維持管理システム 総合演習 後期まとめ)学習内容と到達目 学習内容 学	WD試験法)	票	到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 3	合計	
モデルコ分類評価割合総合評価割合	コアカリ ニ 合	9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	舗装の施工法と材料 舗装の材料のカ学 舗装の機能とその評価 舗装の構造診断法 (F 舗装維持管理システム 総合演習 後期まとめ)学習内容と到達目 学習内容 学	WD試験法)	票 課題 40	到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 3	合計 100	
モデルニ 分類 評価割合 総合評価語 基礎的能力	コアカリ= 合 割合 カ	9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	舗装の施工法と材料 舗装の材料のカ学 舗装の機能とその評価 舗装の構造診断法 (F) 舗装維持管理システム 総合演習 後期まとめ)学習内容と到達目 学習内容 学	WD試験法)	票 課題 40 0	到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 3	合計 100 0	
モデルコ分類評価割合総合評価割合	コアカリ= 合 割合 カ	9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	舗装の施工法と材料 舗装の材料のカ学 舗装の機能とその評価 舗装の構造診断法 (F 舗装維持管理システム 総合演習 後期まとめ)学習内容と到達目 学習内容 学	WD試験法)	票 課題 40	到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 2 到達目標 3	合計 100	